整理No.	85

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	541-01	基本施策	力強い商業への転換	所管部局	商工観光部
施　策　名	中心市街地の魅力づくり			主担当課	産業政策課
				関係部局課	まちづくり推進課
施策の目標	市民・事業者・関係団体・行政の協働による活性化の取組や商業環境の整備などを通じ、中心市街地の魅力的な商空間づくりと賑わいの向上を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
人口減少、高齢化、都市機能の郊外化・空洞化などに伴い、中心市街地における商店数、年間商品販売額、売り場面積等の指標全てが減少傾向にあり、商業業務機能の衰退が懸念されている。 一方、都市機能を集約したコンパクトシティへの転換が求められている中、その重要な要素のひとつである商業機能の面において、商店街や市民等が主体となった活性化に向けた取組みを行政が支援したり、魅力的な商空間づくり等を進める等、中心市街地の一層の賑わいづくりをさらに進めることが必要とされている。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H23）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
中心市街地（６地点）の歩行者・自転車通行量	人	126,478	119,766	120,109				130,000
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
中心市街地に６つの定点を設け、観測された歩行者及び自転車の通行量	事業と関連したまちなかの回遊（快遊）性を捉えるもの。中央通り歩行者優先道路事業、長野駅前整備、権堂地区再開発などの活性化効果も考慮し目標値を設定した。							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H23）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
空き店舗を活用して出店した事業者数（累計）	件	92	104	116				145
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
まちなか空き店舗等活用促進事業補助金により中心市街地の空き店舗を活用して出店した事業者数	年間10～12件程度の出店支援を行うこととして算定した。 (*)総合計画の目標値は115件であるが、平成25年度の申請状況から上方修正したもの。							

25年度の取組内容実績	○空き店舗等活用事業　「まちなか空き店舗等活用事業補助金」において改修３件、賃借４件を支援し、及び「まちなか創業支援補助金」において改修等９を支援することにより、空き店舗対策を実施した。 ○㈱まちづくり長野に財政支援を実施。　7,500千円 同社の主な事業としては、もんぜんぷら座内TOMATO食品館の運営、ぱてぃお大門蔵楽庭の運営（テナント管理、各種イベント企画）、表参道もんぜん駐車場の運営、権堂まちづくりセンターの運営（権堂まちづくり協議会に対する支援を含む）、共通駐車サービス券「まちなかパーキング」事業（サービス券の発行・回収）、空き店舗情報サービス事業（インターネット公開）など

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	概ね順調
	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	・空き店舗対策の事業において主要な通り以外での出店に対しても支援する等、状況の変化に対応し制度を見直す等している。 ・地元商店街や権堂まちづくり協議会の会合に定期的に参加するなど、市民の声を的確に受け止めてアドバイスや情報提供を行っている。 ・㈱まちづくり長野とは頻繁に意見交換等を実施し、相互理解・情報交換に努めている。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	・歩行者等の通行量については、平成19年度に101,894人だったものが概ね12万人にまで増加しており、年ごとの多少のばらつきはあるものの微増傾向である。 ・空き店舗数の推移（いずれもH24とH25の比較、都市整備部まちづくり推進課調査数値　毎年11月実施）　25件→19件と減少傾向である。 ・権堂や中央通り沿いを中心に、ごんバル、街なか市場など商店街主体の新たな取組が行われている。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	中心市街地の歩行者・自転車通行量は徐々に伸びてきているが目標は達成できていない。しかし、もんぜんぷら座トマト食品館の利用者数、空き店舗等活用事業により出店した事業者数は目標を達成しており、概ね事業の成果は出ている。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	空き店舗解消に向けた支援のあり方	平成25年度に事業内容の見直しを行い、平成26年度から個人及び法人事業者を対象とした「まちなかパワーアップ空き店舗等活用事業補助金」に統合した。補助事業を改正し、より使いやすい事業としたところ、申請者数が大きく増加した。
2	㈱まちづくり長野の充実	同社がまちづくり会社としてさらに機能を発揮するためには、新たな自主財源の確保、人材育成、運営体制の拡充等について取り組む必要がある。市としては、財政的な面を含めて支援のあり方を検討するとともに、自主財源の確保等の方策についても相談に乗っている。

施策展開の方向性（H26年度以降）	基本的には現状の事業を継続する中での施策展開となるが、中心市街地活性化の重要な主体のひとつである㈱まちづくり長野との連携強化を図るとともに、商店街等の主体的な取組を支援し、バル街イベントやまちゼミなどの新たな取組の発展と定着に向けてソフト面での支援を強化していく。

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	中心市街地活性化事業補助金 ［補助金・金銭給付事業］ 産業政策課	㈱まちづくり長野への財政支援	・共通駐車券事業（印刷費・改修費等）への補助金交付 ・権堂まちづくりセンターの運営
2	空き店舗等活用事業 ［補助金・金銭給付事業］ 産業政策課	・事業者が空き店舗に出店する場合の補助制度 ・商店街が行う空き店舗対策事業に対する補助制度	・まちなか空き店舗等活用事業補助金　改修３件　賃貸４件 ・まちなか創業支援事業補助金　改修等９件
3			
4			

番号	事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
	達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
1	B	A	B	B	B	継続	9,268	8,978	8,950	8,964
2	A	A	B	A	B	継続	8,983	10,746	10,870	10,328
3										
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26